

管理職のためのユング「タイプ論」

ユングから学ぶ自己開発と対人対応力 (LAPT)

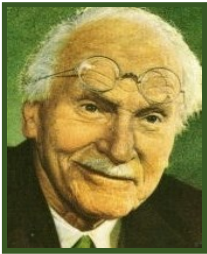
Leadership in Action: Jung's Psychological Types for Managers

このコースの背景

このコースは、ユング心理学に基づいて、自らを深く理解し、自己開発の方向性を知り、他者対応スキルも身に付けていくプログラムです。ユングが生み出した特性理論を正しく反映したこのコースを通じて、人間力と対人対応力の向上、部下育成、そしてリーダーシップの向上に結び付けていきます。

このコースは、単に自己の特徴を知り、他者のスタイルに対する対応力を身に付ける類型論トレーニングではありません。自己理解をオリジナルのユング心理学から深く実現する機会を持つとともに、私たちが無意識の世界に送り込んでいる発達遅れた機能に着目して、**全体性のある管理職**になることをめざしています。また、様々なタイプの部下や上司、その他の人々との関わり方について、共感的に対応できる力を醸成していきます。

このコースでは、部下を持つ者として、また、一人のプロフェッショナルとして、深い自己理解と自己の問題言動が生み出されるメカニズムの理解を通じて、自己開発について真剣に考える機会が提供されます。また、部下を含む様々なタイプの人々を理解し、効果的な対応力を習得します。ここで得られる認識や全体性を通じて、マネジメント力、部下対応、セールス活動、交渉等の効果を高めることができます。



カール・グスタフ・ユング Carl Gustav Jung (1875年- 1961年) 分析心理学の創始者。無意識、深層心理等の世界に光を当てたスイス生まれの心理学者。1921年に大冊「タイプ論」を出版した。彼の研究は多くの研究者に多大なる影響を与え、その後多くの類似の特性理論を生んだ。彼の提示した特性理論は単なる分類論でなく、自己開発をにらんだ、向上と成長のための理論と言えます。自分のタイプの理解でとどまることなく、その先にある**全体性の実現**を目指した理論です。

このコースの目的

管理者として、また一人の人間として、自己理解を促進し、ユングの示した「個性化」（すべての心理的機能や態度を活性化させ、統合していくビジョン）に向かって自己開発を促進させることを主要目的にしています。同時に、他者の理解を促進し、様々なタイプの人たちへの効果的な対応力や指導力を身に付け、他者に対する影響力（リーダーシップ）の向上を実現させていきます。全体性を身に付け、管理職に必要な「人間力」を高めることを目的にしています。

このコースの対象者

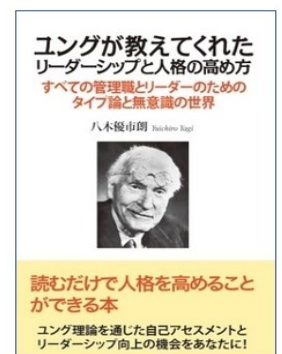
- ▶ 自己理解と共に、全体性を高め、管理職として、総合力の向上が期待される方。
- ▶ 部下の活性化や組織の効率化を図ることが期待されている方。
- ▶ 違った心理特性を持つ人に対して、効果的な対応力を発揮することが期待されている方。
- ▶ ハラスメントをはじめとする特定の脱線言動に対する対応策として活用したい方。

このコースの特色

- ▶ ユングのタイプ論に、できる限り忠実に作られた、管理職のためのセミナー
- ▶ 13冊のユングの著作から厳選した、学習に役立つ引用と共に、学習します。
- ▶ ユングのタイプ論に基づく、「管理職向け個別フィードバックレポート」の発行
- ▶ 対人対応力を効果的に向上させる

提供できる価値

- ▶ 参加者の個人的成長、全体性の獲得を促す
- ▶ マネジメント力、チーム開発力の向上
- ▶ 部下の指導力の向上
- ▶ 対人関係力、交渉力、販売力の向上
- ▶ 誰もが持つ、改善が期待される言動に対し、改善を生むきっかけを作れる
- ▶ 発達の遅れた心理的機能開発を通じた、マネジメント機能不全の改善



本コースの講師によって執筆された書籍です。

このコースの内容

ユングは、人間には内向性と外向性の2つの心理的態度があることを示しました。そして、心理的機能として、情報入手については、現実的な視点で情報入手するセンセーション（感覚機能）と直観的に入手するインチュイション（直観機能）という2つの機能が、情報処理については、ロジックを主に使うシンキング（思考機能）と様々な価値観を主に使うフィーリング（感情機能）があることを示しました。自らが主に活用している心理機能と自らが無意識の世界に追いやっている未成熟な心理的機能を理解する中で、自分自身をより深く理解することができるようになります。そして、知らず知らずのうちに表出してしまう、ネガティブな言動についても、理解を深めることができます。このコースの中で管理者としてだけでなく、一人の人間として、向上の機会や対人対応力の向上の機会を得ることができます。コスモス・ライブラリー発刊の『ユングが教えてくれたリーダーシップと人格の高め方』の内容に対人対応の要素が加わったコースです。

▶ 無意識の世界

- 抑圧された要素、ペルソナとマネジメント

▶ 2つの心理的態度（外向性と内向性）

- 外向性と内個性の補償作用
- ハラスメントのメカニズム

▶ 4つの心理機能

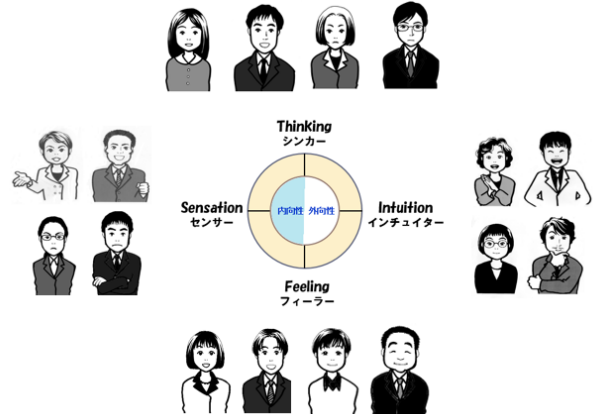
- 各機能の特徴
- 4つの機能の補償作用の理解

▶ 個性化（自己開発）

- 発達の遅れた機能がもたらすこと
- 暴走をもたらす要素と脱線行動
- ストレス対応
- 不合理な信念への対応
- 自己開発に向けてのプラン
- 個性化シートの作成

▶ 各タイプへの対応

- 各タイプの外的特徴
- 各タイプのニーズ
- 内向性／外向性への対応
- 各タイプへの対応
- 各タイプの部下育成
- 面談準備シートの活用



ユングは、各自が持つ心理的機能の使い方によって、シンカー、フィーラー、センサー、インチュイターという4つのタイプを示しました。4つの機能の理解を通し、自己認知や自己開発のための指針、実用的な対人対応力を勝ち得ることができます。

より詳しい内容及び講師情報は、コア・コンセプト・ラボラトリーのホームページをご覧ください。

受講者からの声

- やはりユングはすごかった。類似コースを受けたことがあったが、深みが違う。
- これほど刺激になるコースは受けたことがない。レポートも大変に参考になった。
- 自分をタイプで定義づけてはいけないという講師の言葉を忘れないようにしたい。
- 内容がしっかりしていた。ユングの面白さと価値を理解できた。
- 特性レポートは読むのがつらかったが、マネジメント上、参考になる情報が多かった。
- 個性化に向かって歩む気持ちを与えてくれた。ありがたいコースでした。
- なぜ今までユングを学習できなかったのか、残念に思う。もっと早く受講したかった。
- どこまでできるかわからないが、進むべき方向性は見えた。
- 以前受けたコースで自分を解釈していたが、今回は、「個性化」という世界に目が開いた。
- 人間を見る目は間違いなく進化した。そして能力についても、新しい切り口の認識を得た。
- 一人の管理職として、個性化への道筋を気づかせてくれたように思える。努力したい。
- 業務には単にマネジメントだけでなく、他部門との対応を含めて活用できると思う。
- 特性レポートには圧倒されたが、本当に参考になるアドバイスであふれている。
- 自分の成長について、このコース程考えさせられる経験はなかった。5年早く受講したかった。
- 部下との対応で、つい厳しくなってしまう「影」にある自分を良く理解したい。
- 面談準備シートは強力なツールです。次の商談に使えると思います。

コア・コンセプト・ラボラトリー・ジャパン LLC

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-19-15 宮益坂ビルディング 609

info@ccljapan.com

<http://www.ccljapan.com>

パートナー会社以外のトレーニング会社、コンサルティング会社、および、その関連会社からのご出席はお断りしております。